

平成17年度

文部科学省・筑波大学国際教育協力シンポジウム
「開発途上国における派遣現職教員の活躍」

国際協力機構

理事 松岡 和久

開発途上国の現状

- 小学校に行けない子供の数
1億3000万人（およそ5人に1人）
- 小学校に入学しても卒業できない子供の数
1億5000万人
- 文字が読めない人の数
8億7000万人（15歳以上の約4人に1人）

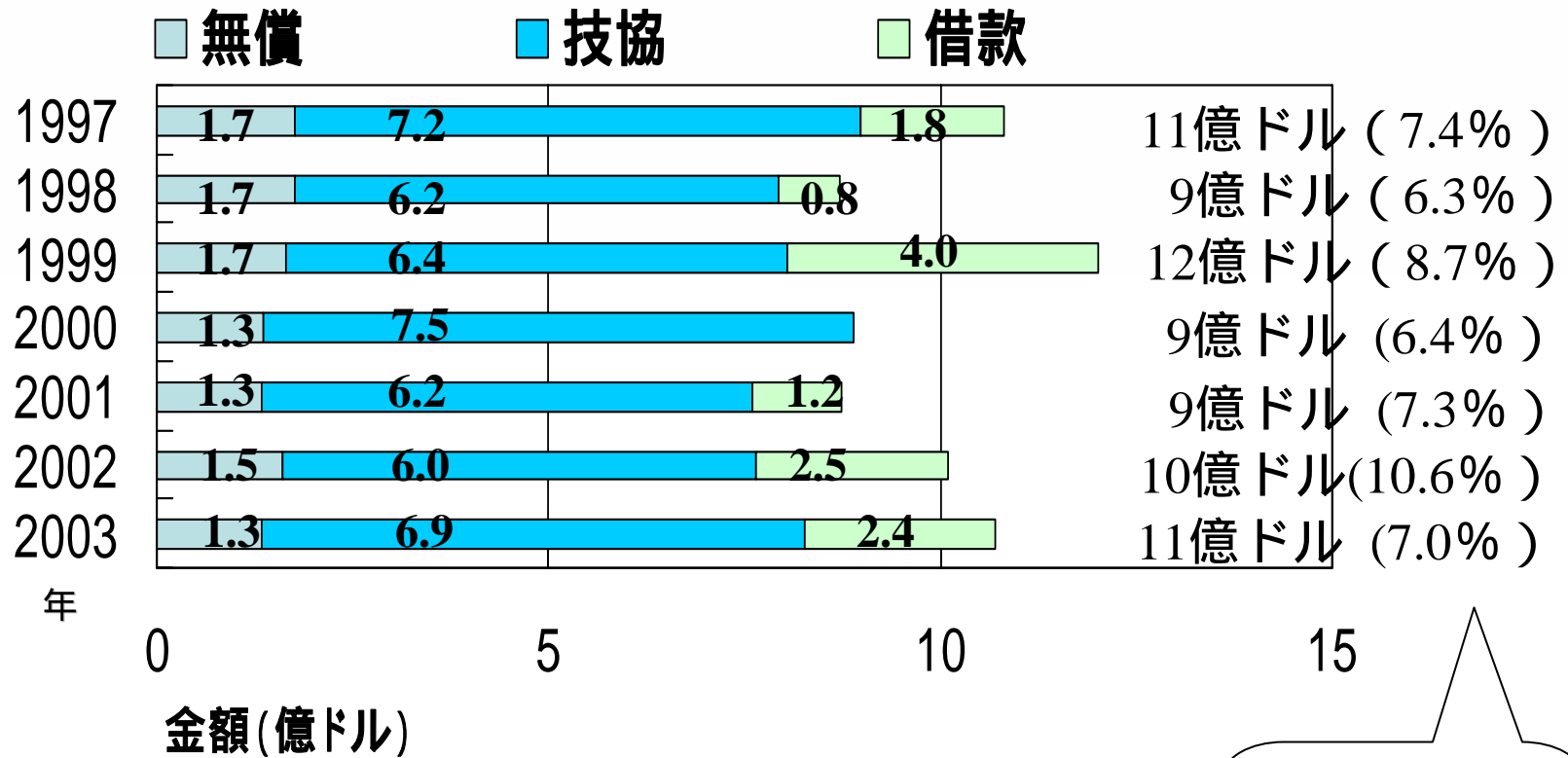
日本の教育援助政策

- ODA大綱(1992年)
- ODA中期政策(1999年).
- 成長のための基礎教育イニシアティブ BEGIN:
Basic Education for Growth Initiative (2002年)
 - ✓ G8カナナスキスサミット(6月)で小泉首相が発表、ヨハネスブルグサミット(WSSD)の「小泉構想」にも盛り込まれる
 - ✓ 重点分野:基礎教育の機会の確保、質の向上、マネージメントの改善
 - ✓ BEGINと同時に、今後5年間で低所得国にたいし2500億円以上の教育支援を約束
- 新ODA大綱(2003年)
 - ✓ 11年ぶりの改定(旧ODA大綱1992年制定)
 - ✓ 重点課題:貧困削減(教育、保健、水、農業等)、持続的成長、地球的規模問題、平和構築
- 新ODA中期政策(2005年)
 - ✓ 重点課題:貧困削減(保健、教育等)、持続的成長(人づくり支援)、地球的規模課題、平和構築

日本の教育援助に影響を 与えている国際的会合や宣言

- 万人のための教育世界会議 (1990年)
- 北京女性会議 (1995年)
- 社会開発サミット: 20/20協定 (1995年)
- DAC新開発戦略 (1996年)
- 高等教育世界会議 (1998年)
- 世界教育フォーラム (2000年)
 - ✓ EFA上級会合(2001年パリ、02年ナイジェリア、03年インド、04年ブラジル)
- ミレニアム開発目標 (2000年)
- サミットG8コミュニケ (02年カナキス、.....05年グレンイーグルズ)
- ファスト・トラック・イニシアティブ (2002年)
- G8教育タスクフォース報告 (2003年)
- 国連持続可能な開発のための教育の10年
(2005-2014年)

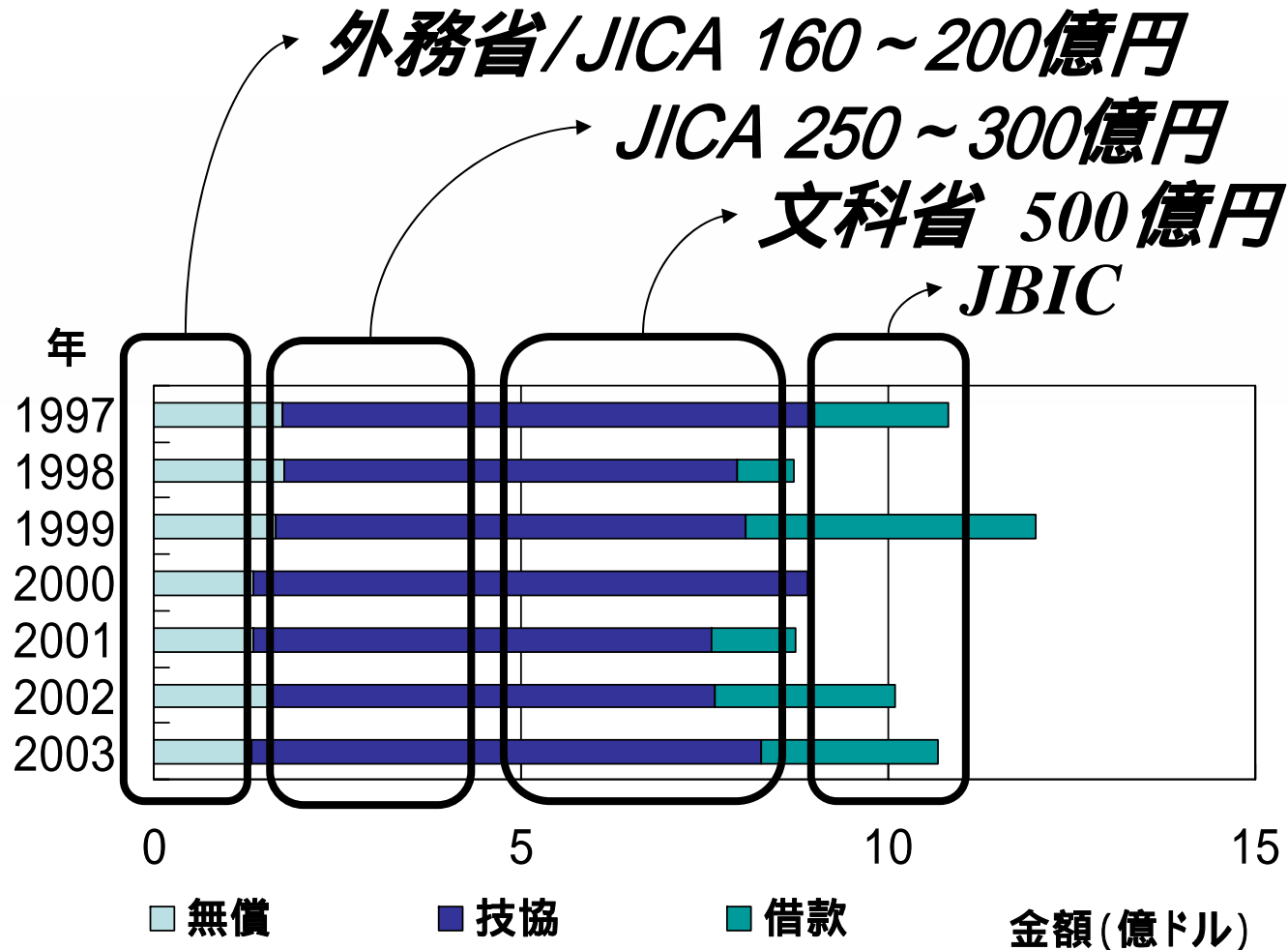
日本の教育協力実績の推移



注：二国間ODAのみ、約束額ベース、
暦年、DAC分類による

2 国間ODAに
占める教育
分野の割合

日本の教育協力の実施体制



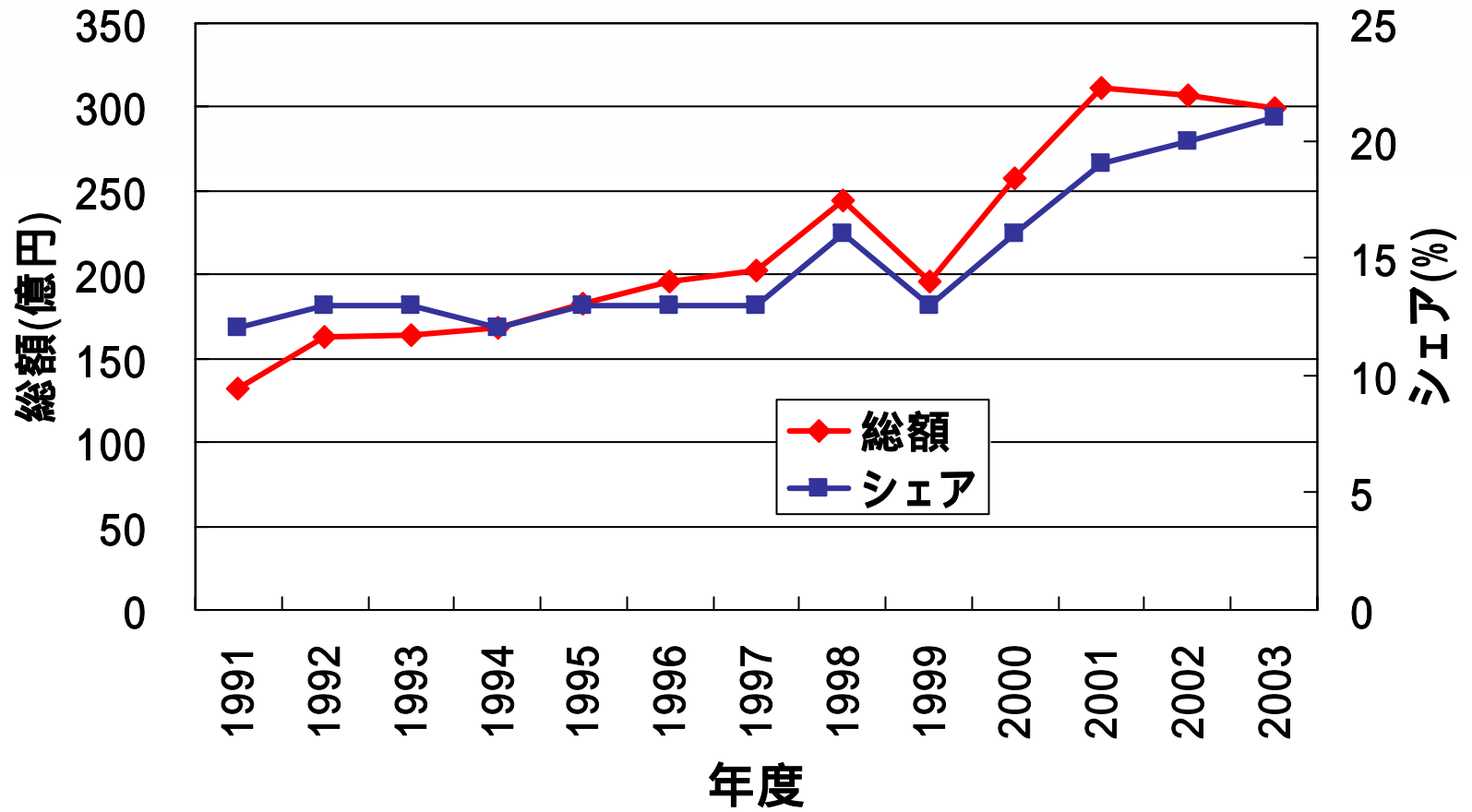
注: 二国間ODAのみ、約束額ベース、
 暦年、DAC分類による

JICAの教育援助方針

- 教育援助研究会報告(1992/1993年)
 - ✓ 教育援助をODA全体の15%にまで増額させる
 - ✓ 基礎教育重視
 - ✓ 相手国の教育段階に応じた教育援助を行う
- 基礎教育協力効果的アプローチ(2002年)
- 高等教育協力効果的アプローチ(2003年)
- ノンフォーマル教育協力援助指針(2004年)
 - ✓ アプローチ:基礎教育拡充/向上、ソーシャルキャップ是正、生計向上、保健衛生環境改善、HIV/AIDS対策、自然環境保全、平和構築
- 基礎教育協力援助指針(2005年)
 - ✓ 重点分野:就学率の向上、質の改善、女子教育、NFE、教育マネジメントの改善
- 地域別基礎教育協力方針(2004年)
 - ✓ アフリカ地域、中南米地域...

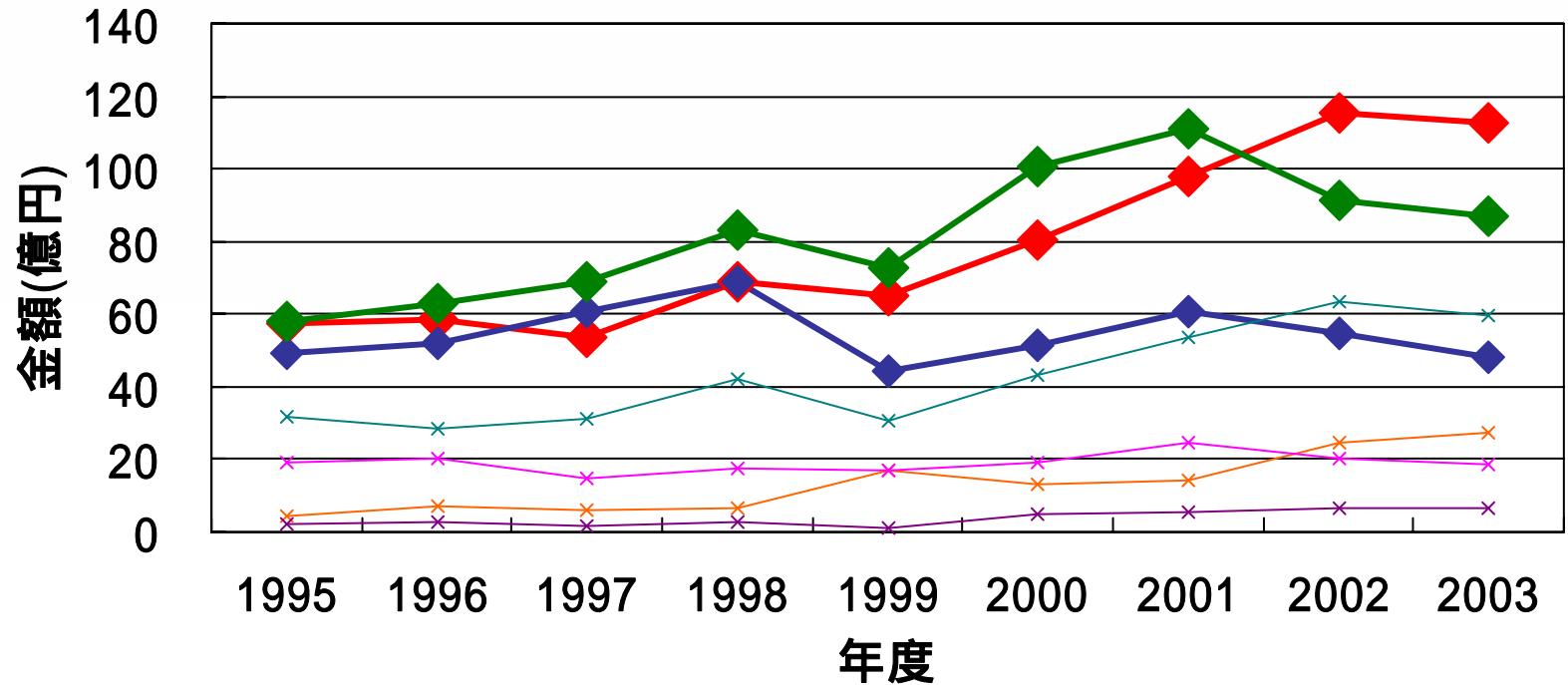
JICAの教育分野の技術協力実績

～ 経年変化



JICAの教育分野の技術協力実績

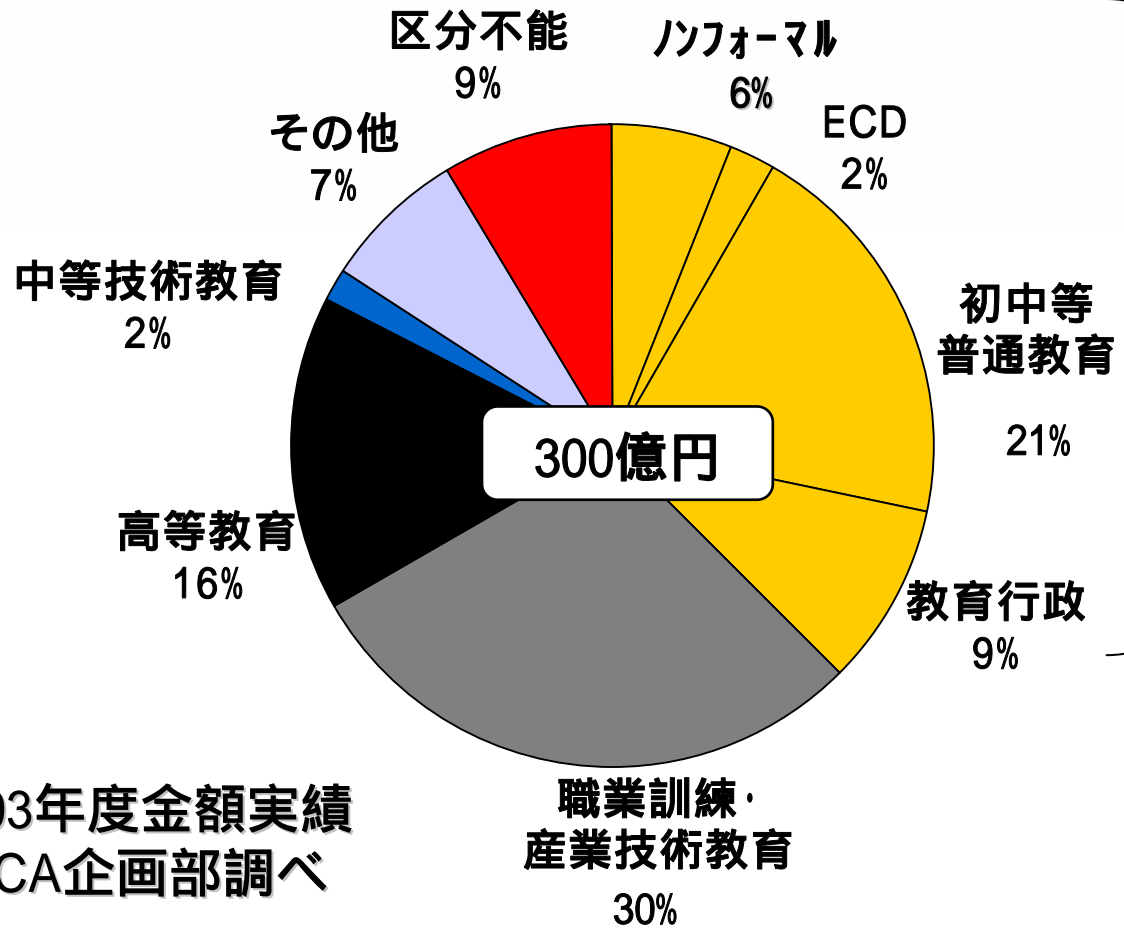
～ 主要サブセクターの経年変化



- ◆ 基礎教育
- ◆ 高等教育
- ◆ 職業訓練・産業教育
- × 初中等普通教育
- × 教育行政
- × ECD
- × NFE (但し、基礎教育は初中等普通教育、教育行政、ECD、NFEの合計額)

金額実績ベース JICA企画部調べ

JICAの教育分野の技術協力実績 ～サブセクター別内訳



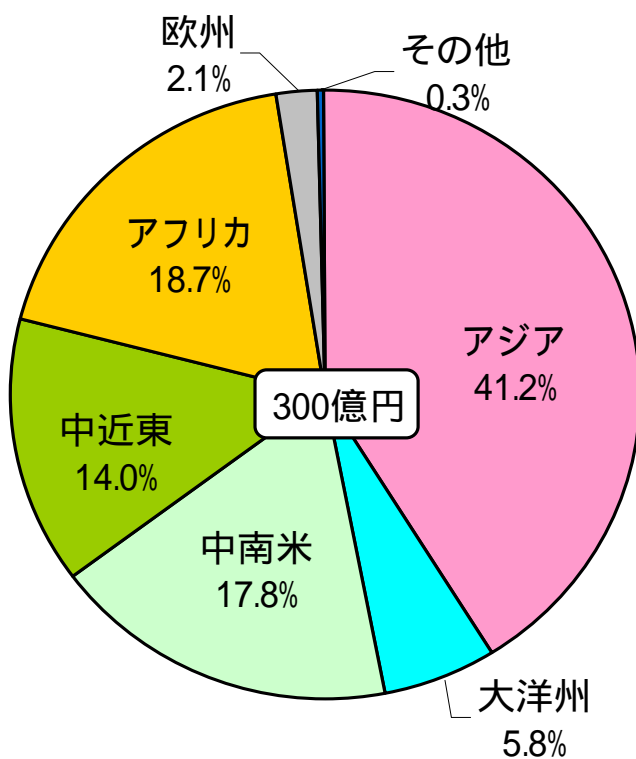
基礎教育分野
38%

2003年度金額実績
JICA企画部調べ

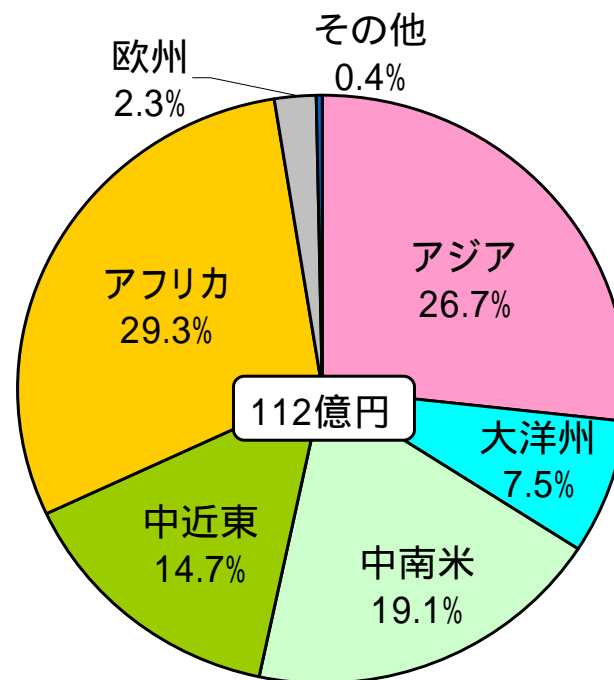
JICAの教育分野の技術協力実績

～地域別内訳

JICAの教育分野の協力実績
(地域別) 2003

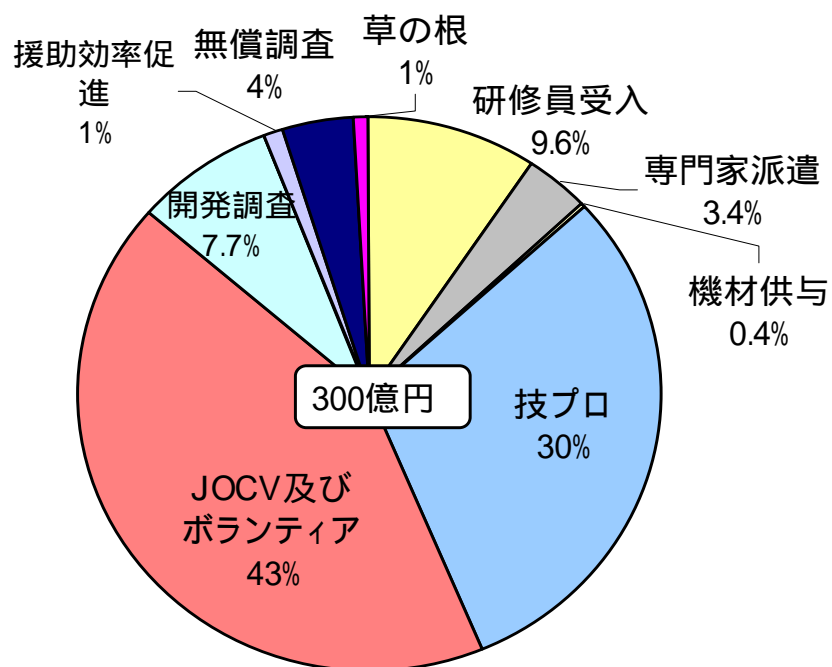


JICAの基礎教育分野の協力実績
(地域別) 2003

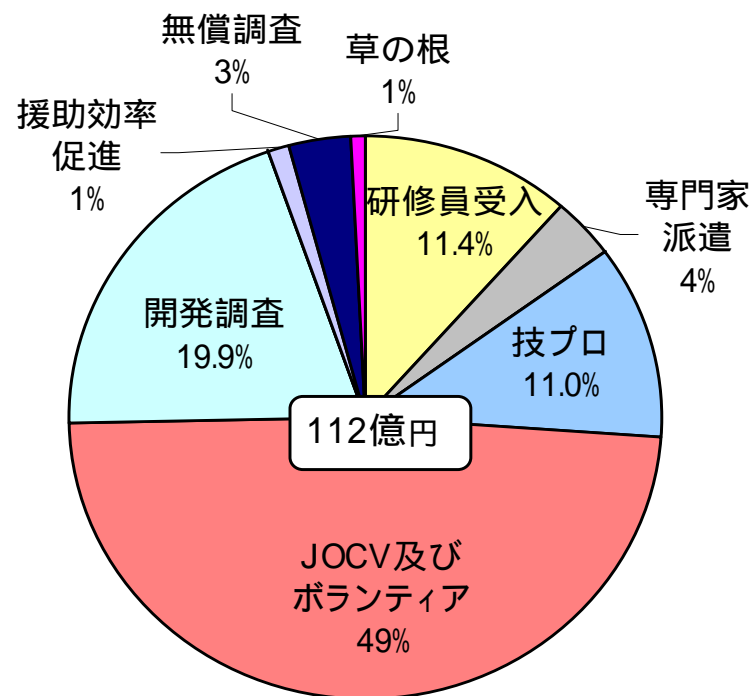


JICAの教育分野の技術協力実績 ～事業スキーム別内訳

JICAの教育分野の協力実績
(スキーム別) 2003



JICAの基礎教育分野の協力実績
(スキーム別) 2003

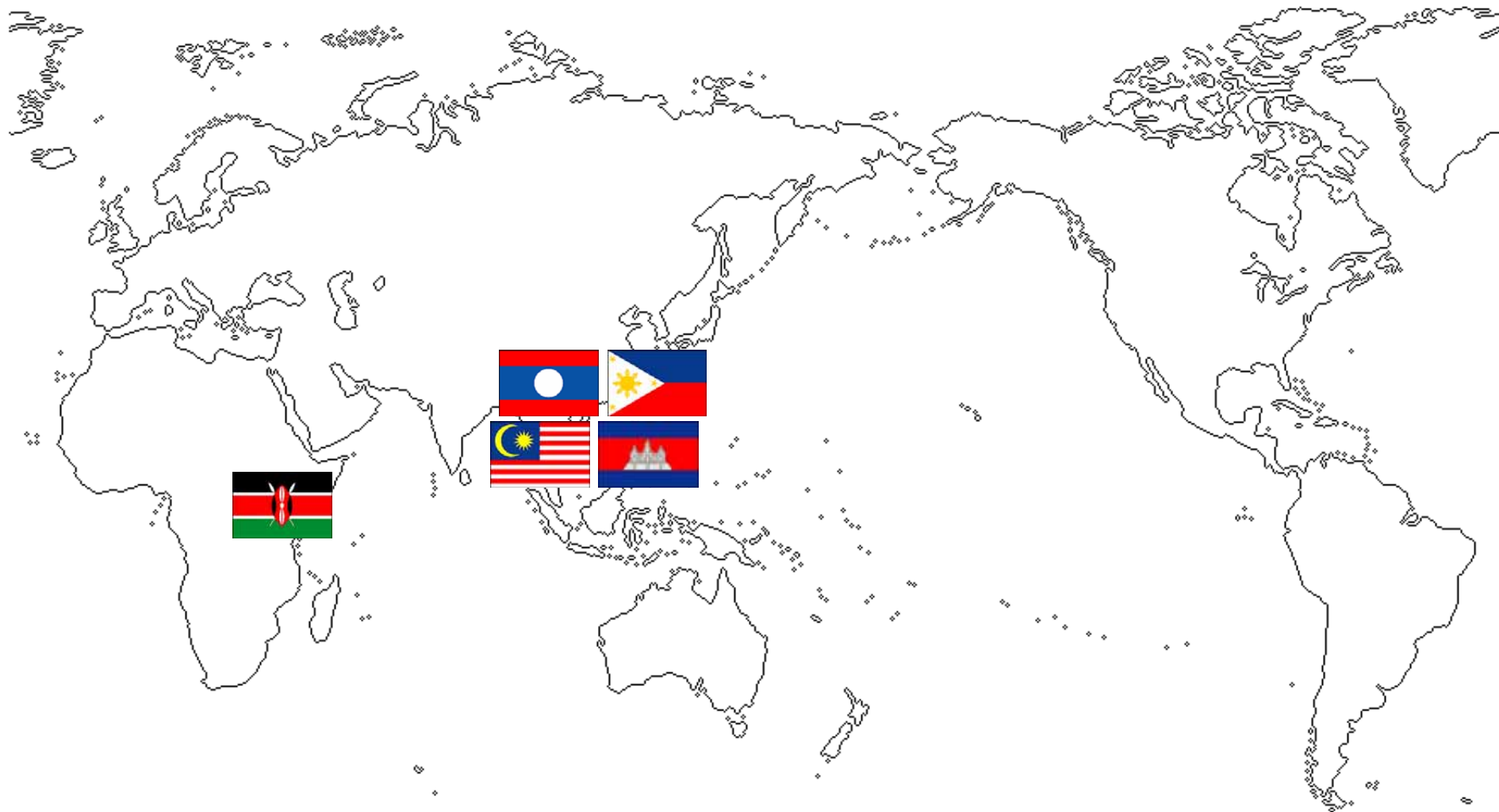


「無償調査」は基本設計調査 + 実施促進の経費のみ。
本体予算(約200億円)は外務省所管。

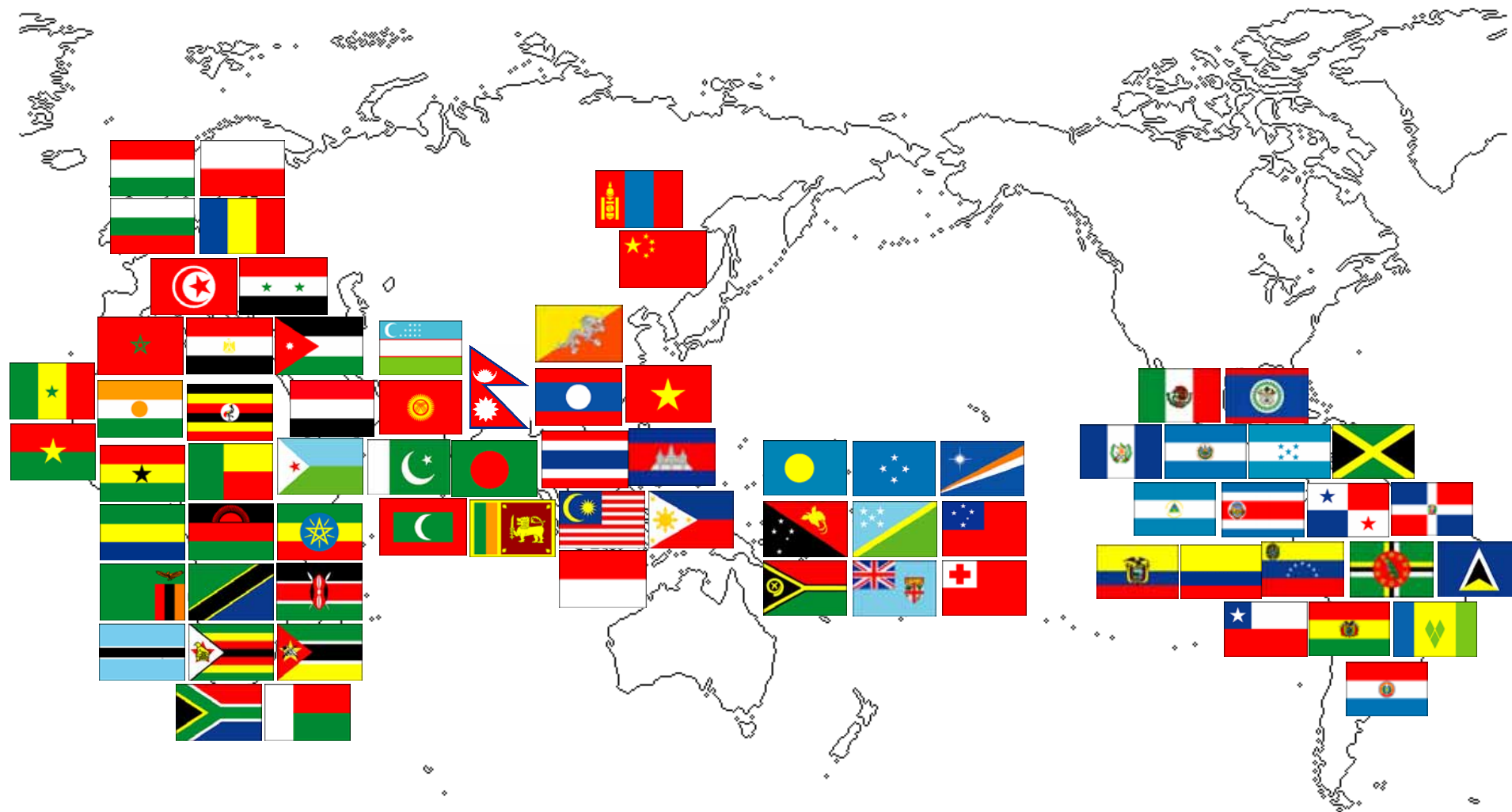
青年海外協力隊について

- 世界73カ国に2,650名(内女性1,500名)派遣
(累計27,521名【内女性10,916名】)
- 農業隊員からスポーツ隊員までさまざまな職種が存在(17年度秋募集は124職種)
- 原則2年間の派遣
- 選考試験(筆記試験、面接試験) 派遣前訓練(70日間) 派遣(2年間) 帰国

1966年

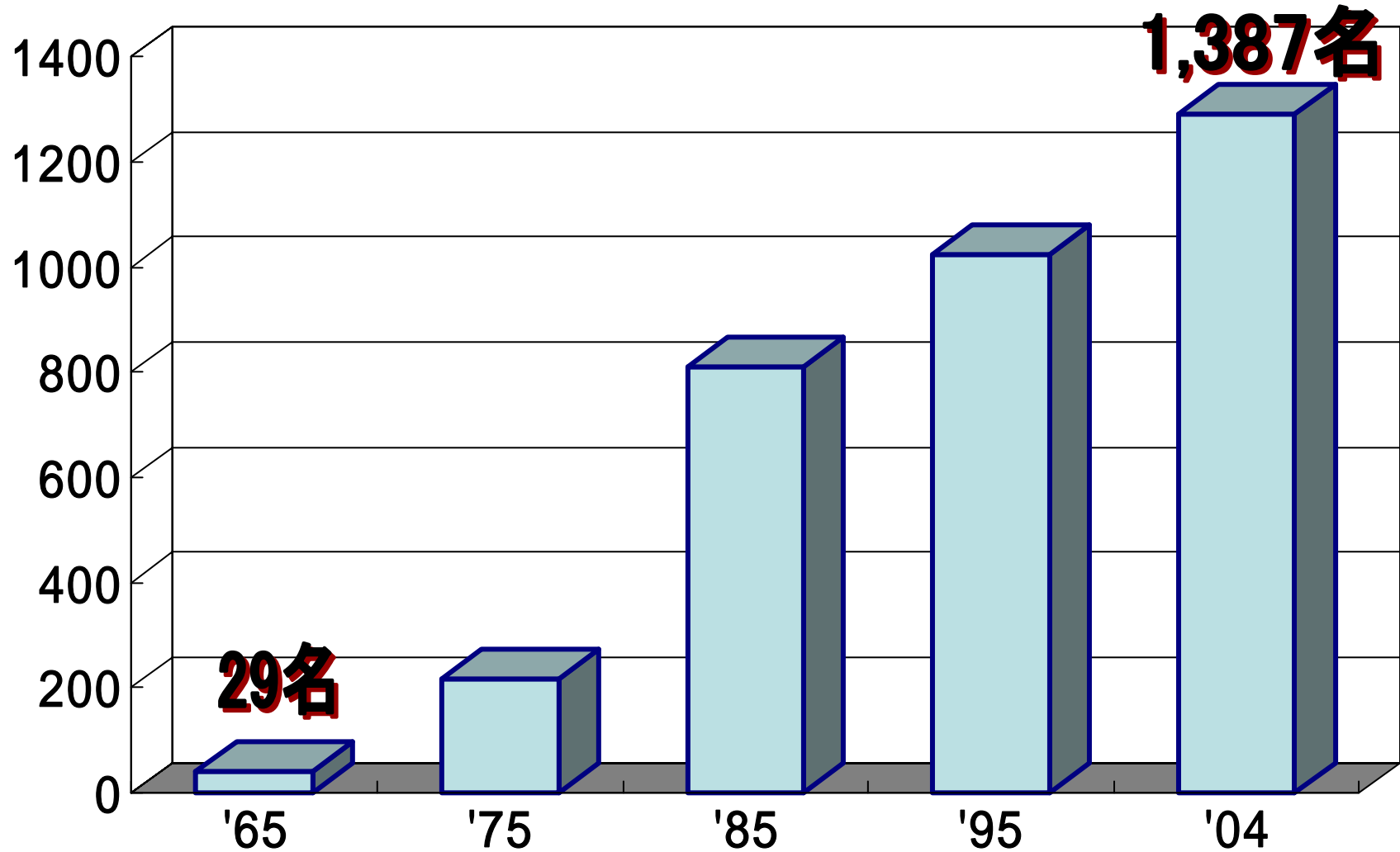


2005年

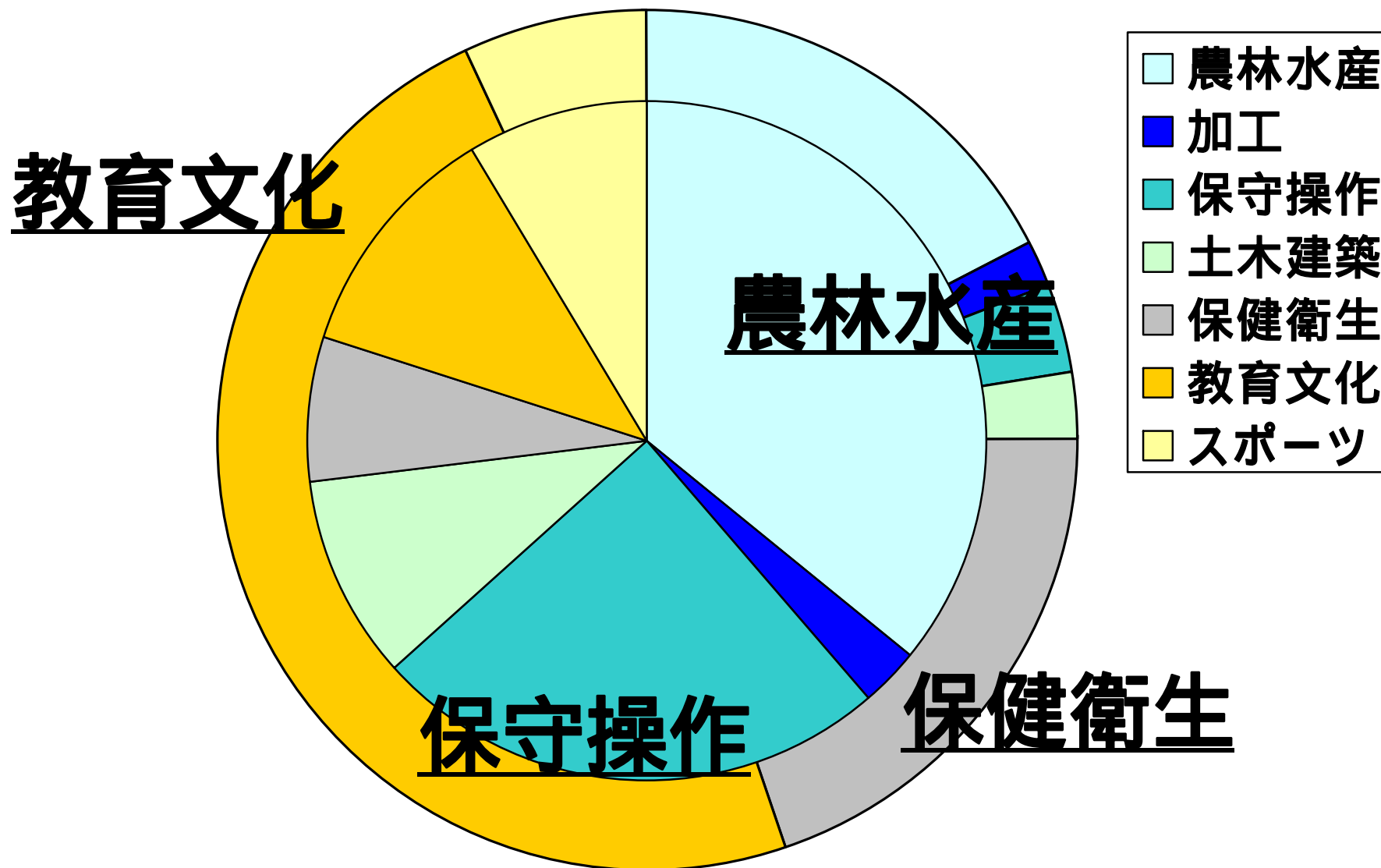


世界73カ国で活動中

年度別派遣実績



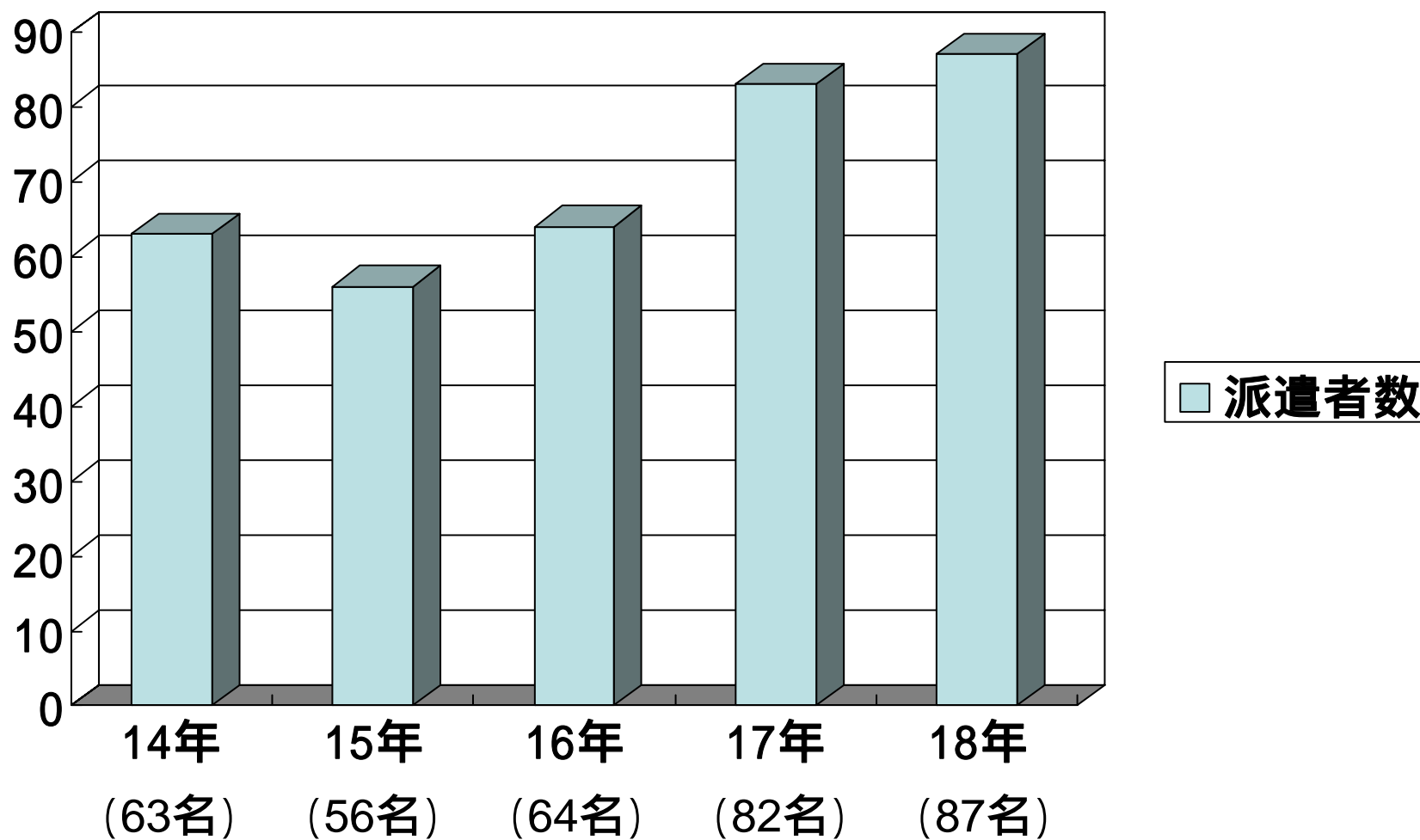
分野別比較 1975 & 2005



現職教員特別参加制度の概要

- (1) 学期制にあわせた派遣期間を設定
4月訓練参加 7月派遣
2年後の3月に帰国 4月職場復帰
- (2) 教育委員会、文部科学省からの推薦により
青年海外協力隊の1次試験を免除
- (3) 派遣される教員の人件費の80%を上限として
JICAから教育委員会へ補填

現職教員特別参加制度の実績



18年については現時点での合格者数

現職教員特別参加制度の分析

JOCV世代教員の割合が高い都道府県		JOCV世代教員の割合が低い都道府県	
鹿児島（約9000人）	57.6%	大阪（約7500人）	17.2%
長崎（約6000人）	50.4%	埼玉（約9000人）	24.6%
宮崎（約4500人）	50.4%	神奈川（約10000人）	25.9%
佐賀（約3500人）	49.9%	和歌山（約2500人）	26.0%
北海道（約21000人）	49.7%	京都（約4000人）	26.7%

$$\text{割合} = \frac{\text{20～39歳の教員数}}{\text{全体の教員数}}$$

(参考: 学校教員統計調査報告書)

現職教員特別参加制度の分析

順位	推薦率が高い 都道府県		累計推薦者数 (H13年度～17年度)
1	神奈川県	0.68%	73人
2	京都府	0.53%	21人
3	奈良県	0.46%	12人
4	千葉県	0.40%	39人
5	北海道	0.40%	85人

$$\text{推薦率} = \frac{\text{推薦者数}}{\text{20～39歳の教員数}}$$

(参考: 学校教員統計調査報告書)

現職教員特別参加制度の分析

順位	合格率が高い都道府県		累計合格者数 (H13年度～17年度)
1	神奈川県	0.32%	35人
2	静岡県	0.23%	30人
3	東京都	0.22%	49人
4	岐阜県	0.20%	14人
5	奈良県	0.19%	12人

$$\text{合格率} = \frac{\text{合格者数}}{\text{20～39歳の教員数}}$$

(参考: 学校教員統計調査報告書)

JICAにおける教育現場との連携



出前講座



教師海外研修

(サモアの小学校を訪問)

ライブ授業に興味津々

ネット通じ交流学習

秦野・鶴巻小とバナアツの小学校

ネットを介し、ラカトロ小の児童にカルメ焼きを紹介する鶴巻小の6年生



インターネットを活用した海外の小学校とのライブ授業が二十九日、秦野市鶴巻の市立鶴巻小学校（下山一夫校長）で行われた。相手校は南太平洋に浮かぶ群島国のバナアツ共和国のラカトロ小学校（マレクラ島）で、児童同士がネット画面を通じてじかにやりとりする交流学習に励んだ。

（狩野 武夫）

両校のライブ授業が実現したのは、鶴巻小の関野貴之教諭（30）が今春まで青年海外協力隊員として同国の小学校に教諭派遣されていたのがきっかけ。

文部科学省の事業委託を受けて派遣教職員を支援する筑波大学教育開発国際協力研究センターの仲立ちで実施された。全国でも二カ所だけの取り組みという。

ライブ授業は六年生を対象に行われ、両校が互いの国の「食」をクイズ形式で紹介した。鶴巻小ではカルメ焼きを取り上げ、オタマにザラメを入れて火にかけて作る「ころから披露した。

一方、ラカトロ小から同国の伝統料理でバナナやココナツなどを使ったシンボロを教えてもらった。

互いのやりとりでは、鶴巻小が日本語、ラカトロ小が公用語のヒスラマ語を現地にいる協力隊員が通訳した。映像で伝わるライブの互いの反応に子供たちは興味津々。

西村沙耶さん（12）や渡辺庸子さん（11）らは「知らない国の人たちとおしゃべりできて楽しい」と授業に熱中していた。

ライブ授業は七月にも行われ、今回が二回目。担当の関野教諭は「子供たちの学習にどう生かすかを探りながら、年内をめどに三回目を行いたい」と話していた。

今後の取組みについて

- ・短期派遣制度の活用
- ・シニアボランティアへの特別制度の拡大
- ・帰国教員のネットワーク化

ご静聴ありがとうございました